

5月 給食だより

令和6年5月8日
北区立堀船中学校
校長 阿久津 光生
栄養士 青木 真歩

生活リズムを見直そう

新緑が目に鮮やかな季節となりました。生徒たちは新しい環境にも慣れてきたようで、給食の準備や後片付けを協力してスムーズに進めている様子が見られます。

新年度が始まって1か月がたちましたが、心や体に疲れが出てくるところもあります。朝なかなか起きられなかったり、日中ボーッとしたり、食欲がないなど、気になる症状がある場合は、生活リズムを見直してみましょう。

生活リズムを整えるためのポイント



学校給食の食事内容について

給食は残さず
食べなくちゃ
いけないの？



学校給食の献立は、文部科学省が定める「学校給食摂取基準」に基づき、栄養士が作成しています。1日に必要な栄養量の1/3程度を基本に、不足しがちなカルシウムやビタミン類は多めにとれるよう考慮し、食材や調理方法を工夫して提供します。残さず食べることで、必要な栄養をしっかりとることができますので、食べられる人は、盛り付けられた量を食べ切るよう心がけましょう。苦手な食べ物があったり、食べられる量が少なかったり、給食を食べることに不安を感じている人は、無理をしなくて大丈夫です。成長するにつれて、だんだんと食べられるようになりますので、少しづつ慣れていくましょう。

★楽しい雰囲気で食べると、よりおいしく感じます。

★協力して準備をし、食べる時間を長くとれるようにすることが大切です。





ご せ つ く ご せ つ く

ぎ ょう じ し ょく

し

「五節句(五節供)」と行事食について知ろう!



がつい か こくみん しゅくじつ ひ おとこ こ すこ
5月5日は、国民の祝日「こどもの日」ですが、男の子の健や
せいちょう いわ たんご せつく せつくな きょう
かな成長を祝う「端午の節句」でもあります。節句と名のつく行
じ がつなのか じんじつ せつく がつみっか じょうし せつ
事はほかに、1月7日の「人日の節句」、3月3日の「上巳の節
く がつなのか しあせき せつく がつこのか ちょうよう せつく
句」、7月7日の「七夕の節句」、9月9日の「重陽の節句」があ
く がつなのか しあせき せつく がつこのか ちょうよう せつく
り、まとめて「五節句(五節供)」と呼ばれます。

ちゅうごく つた ふうしゅう ほんじくじ ぎょうじ へんか
中国から伝わった風習が日本独自の行事に変化したもので、
ぎょうじ じょく けんこう あわく ねが こ
行事食には、健康で幸せに暮らせるようにという願いが込められ
ています。それぞれの節句には、邪気(病気や災難を起こす悪い
き はら きせつ しょくぶつ もら とくちょう
気)を払うとされる季節の植物が用いられているのも特徴です。



ひ じんかく おも
こどもの日は「子どもの人格を重んじ、
こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日として定められており、本来
は、端午の節句とは別の行事です。

1/7

人日の節句 (七草の節句)



しゅるい わかな い ななくさ た いちねん むびょうそく
7種類の若菜を入れた「七草がゆ」を食べて、一年の無病息
さい ねが わかな
災を願います。若菜は、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホ
トケノザ、スズナ、スズシロで、春の七草ともいいます。

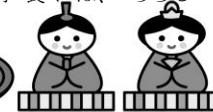


3/3

上巳の節句 (桃の節句)



まつ な した もも はな にんぎょう かざ
「ひな祭り」の名で親しまれ、桃の花やひな人形を飾り、
おんな こ すこ せいちょう いわ
女の子の健やかな成長を祝います。行事食には、「ちらし
じる ずし」「はまぐりのうしお汁」「ひしもち」
「ひなあられ」などがあります。



5/5

端午の節句 (菖蒲の節句)



む しゃにんぎょう かざ
かぶとや武者人形、こいのぼりを飾り、「ちまき」や「か
しわもち」を食べて、男の子の健やかな
せいちょう いわ かお つよ しょうぶ い
成長を祝います。香りの強い菖蒲を入れ
ふろ やく はら ふうしゅう
たお風呂につかり、厄を払う風習もあります。



7/7

七夕の節句 (笹の節句)



ねが ごと か たんざく ささだけ ぎ げいじょううつ ほうさく ねが
願い事を書いた短冊を笹竹につるし、技芸上達、豊作などを願
ほしまつ おこな ぎょうじょく た ねが
う「星祭り」が行われます。行事食として「そうめん」が食べ
らられていますが、夜空に浮かぶ天の川や、機織りに使う
いと みた よぞら う あま がわ はたお つか
糸に見立てているなど、いろいろな由来があります。



9/9

重陽の節句 (菊の節句)



きく つよ かお じやき はら ちょうじゅ ねが げんだい
菊の強い香りで邪気を払い、長寿を願います。現代では、
あまりなじみがありませんが、江戸時代には五節句を締めくくる
きょうじ きく はなみ いっぽん
行事として、菊の花見をするなど、一般的
ひと あいだ せだい おこな 人びとの間でも盛大に行われていました。



今月の給食紹介



5/9とりめし(長崎)…おもてなし用の混ぜご飯で、長崎の一部地域では鶏を「とい」と言うことから、「といめし」とも呼ばれるようです。

5/9切り干し大根の煮物(栄木)…冬の栄木では空つ風がよく吹き、切り干し大根などの乾物がよく作られてきました。

5/20鬼まんじゅう(愛知)…腹持ちが良い上に安価なおやつとして重宝されていました。

5/22しょいめし(滋賀)…祭りの際に食べられたことから、「わっしょい」の「しょい」をかけて名付けられたと言われているそうです。

おすわい(富山)…お祝い事にかかせないおかずですが、家庭で日常的に食べられています。

5/29豆ご飯(和歌山)…和歌山は全国有数のエンドウの産地です。給食では、手に入りやすいグリーンピースを使用する予定です。